

学生の確保の見通し等を記載した書類(資料)

目 次

資料	1-1	香川大学大学院医学系研究科博士後期課程に関するアンケートのお願い	-2頁
資料	1-2	調査票	-3頁
資料	2	香川大学大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）ガイドブック	-4頁
資料	3	第七次香川県保健医療計画	-5頁
資料	4	修士課程入学者の受験時の所属先別人数	-16頁
資料	5	健やか香川21ヘルスプラン（香川県健康増進計画）	-17頁
資料	6-1	要望書（香川県）	-20頁
資料	6-2	要望書（香川県看護協会）	-21頁

令和 年 月 吉日

香川大学医学系研究科
看護学専攻 ○○の皆様

香川大学医学部
看護学科長 市原 多香子

香川大学大学院医学系研究科
博士後期課程に関するアンケートのお願い

本学の医学系研究科修士課程看護学専攻は、平成12年に設置されて以来、167名の方々に修士（看護学）の学位を授与し、また、令和2年より新たに「助産学コース」が設置されました。

本学では引き続き医学系研究科の改革を進めており、看護学教育者・研究者を育成することを目的に令和4年度の博士後期課程の新設に向けて準備を進めております。

つきましては、博士後期課程における教育の必要性を把握するために、本学医学系研究科修士課程修了生の皆様の、大学院（博士後期課程）進学に関する意向調査を実施したいと思います。

尚、本調査は無記名で実施し、今回の大学院改革の基礎資料とする他には使用いたしません。ご不明の点やお問い合わせ等ございましたら、下記までご連絡ください。

また、アンケートへの回答は、○月 ○日（○）までに、看護学科事務室へFAX送信、または看護学科事務室前メールボックス（看護学科事務室）へ直接投函でお願いいたします。

ご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。

【お問い合わせ先】

看護学科事務室（看護学科教育研究棟 1階）

担当者：岡田 崇寛

電話：087-891-2344（内線：3831）

FAX：087-891-2358

リサーチマインドを持つ

看護プロフェッショナルへ

Graduate School of Medicine Master's Course GUIDE

香川大学大学院医学系研究科
看護学専攻(修士課程)
学生確保(資料)-4

修士生と指導教員の研究テーマ

分野	専門領域	研究テーマ
基礎看護学	看護医科学	最大筋収縮時磁気刺激の作用機序の解明と臨床応用に関する研究 ブレイン・マシン・インターフェイスへの応用ための新しい脳波解析法に関する研究 経胃栄養症患者における誤嚥性肺炎の原因に関する基礎研究
	基礎看護学	新採用者の入職後1年間における医療安全文化に対する認識 看護部長の自信につながる経験の分析 プリセプター看護師のインシデントレポート記載に対する思いの変化 看護スキルの暗黙知と学習支援システムの開発に関する研究
	急性期成人看護学	男性勤労者における筋肉量低下と身体活動・健康習慣についての関連性の検討 下肢筋肉量減少や生活習慣病発症に起因する健康習慣の特定に関する研究 療養患者の回復促進をはかるケア方法の開発
	慢性期成人看護学	シームレスな療養支援を可能にする看護職間の連携構築に関する研究 入院中の高齢がん患者の健康状態と主観的健康感・幸福感の検討 血液透析患者の首尾一貫感覚に関連する身体的・精神的・社会的要因の検討 足浴と足部温電法における皮膚温と皮膚感覚の比較検討 臨床看護師のための傾聴プログラム試案の検討
	臨床看護学	質問紙調査法、実験調査法などによる成人慢性期患者の看護方法の開発 小児がんを経験した子どもの復学の適応プロセス 早産児の皮膚成熟度評価のための皮膚水分量と皮膚観察所見 ミャンマーで日本語を学ぶ人たちの介護技能実習生に関する役割認識 授乳中乳房の血行動態反応に関する研究 Developing Japanese Researchers' Academic English Writing Skills
老年看護学	母性看護学	パートナーからの情緒的サポートに対する産後1か月の初産婦の思い 入院中の双胎妊婦のケアに関する助産師の認識 伊吹島の出郡屋で別火生活を送った女性の思い 中堅助産師のキャリア発達への思いのプロセス 双胎妊婦の妊娠期-育児期の支援に関する研究
	老年看護学	ストーマ保有者のボディイメージに関連する経験 診断時期の認知症高齢者が認る自己のあり様と自己への気づき 文献検討による「老いを生き抜く力」の概念の明確化 がん看護エキスパートナースががん患者の痛みを全人的に理解する体験
	地域看護学	地域組織の活動プロセス、活動成果に関する研究 育児期における父親の親性と母親の育児負担感に関する研究 児童虐待リスクアセスメントに関する研究 保健師が地域に根差すことに関する研究
地域看護学	在宅看護学	地域包括ケアやIPWに関する研究 Successful Agingに関する研究 在宅療養高齢者の家族や支援システムの構築に関する研究 子どものメンタルヘルスとその家族支援に関する研究
	精神看護学	認知症高齢者の地域生活支援における多職種連携の促進に関する研究 看護教育における看護学生の精神看護コミットメントに関する研究 首尾一貫感覚(SOC)に着目した、人の社会環境への適応に関する基礎的研究

761-0793 香川県木田郡三木町大字池戸1750番地1 香川大学医学部学務課大学院・入学試験係

TEL:087-891-2074
HP:https://www.med.kagawa-u.ac.jp/

修士留学生から

私はミャンマーからの留学生でした。1年間は研究生、2年間は大学院生でした。3年間の留学生活の道を振り返ってみると感無量でいる思いが出てきました。介護施設でのアルバイトや大学でのティーチング・アシスタントをしながら大学院で学ぶ機会を得ることができました。たった一人だけの外国人留学生でしたが、先生方の熱心な指導と同級生の友人達の励まし、同国の友人からの親切なアドバイスなどのおかげで、いろいろなことを乗り越えることができたと思います。最も重要なことは自分の視野を大きく広げたことです。これから、日本と母国のミャンマーの架け橋となれるように頑張りたいです。



入試概要

——— 入学選抜試験日程(予定) ———

[出願資格審査書類提出期限]

前期:6月下旬 後期:11月下旬(学生取得者は不要)

[出願受付期間]

前期:7月中旬~下旬 後期:12月下旬~1月上旬

[入学試験日]

前期:8月下旬 後期:2月上旬

[選抜方法]

英語(辞書は英和辞典のみ持ち込み可、電子辞書は不可)、専門領域別試験、面接

——— 案 内 ———

詳細は、5月下旬頃公開予定の募集要項及びホームページで確認してください。

ホームページアドレス

https://www.med.kagawa-u.ac.jp/
prospective_students/igaku_master/

——— お問い合わせ先 ———

看護学専攻(修士課程)での研究領域選択の問い合わせは、大学院入学試験係迄ご相談ください。尚、看護学専攻内の希望領域の選択に際し、入学前に指導教員と連絡調整をお願いいたします。

相談のメールアドレス

Email:nyuusi@med.kagawa-u.ac.jp

——— 資料入手先 ———

香川大学大学院医学研究科看護学専攻(修士課程)の「学生募集要項」(一般選抜・社会人選抜)など、出願に関する資料は、香川大学ホームページからダウンロードください。

第七次香川県保健医療計画

平成30年3月

香川県

第七次香川県保健医療計画 目次

第1章 計画の基本的な考え方

第1節 計画策定の趣旨	1
第2節 計画の基本理念・取組みの方向性	3
第3節 計画の位置付け	5
第4節 計画の期間	6

第2章 香川県の保健医療提供体制の現状・課題と対策

第1節 地勢・交通及び人口等の状況	7
1 地勢と交通	7
2 人口	7
3 平均寿命	8
4 人口動態等	9
第2節 保健医療圏と基準病床数	14
1 保健医療圏	14
2 二次保健医療圏の圏域設定の考え方	14
3 基準病床数	16
第3節 医療提供施設等の状況	18
1 病院及び診療所等の概況	18
2 住民の受療動向	26
3 香川県及び各保健医療圏における医療提供施設及び医療従事者の状況	29
第4節 医療従事者の確保・養成	33
1 医師	33
2 歯科医師	36
3 薬剤師	37
4 保健師	39
5 助産師	40

6	看護師・准看護師	42
7	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	46
8	歯科衛生士・歯科技工士	48
9	管理栄養士・栄養士	49
10	その他の医療従事者（臨床検査技師、診療放射線技師）	50
11	その他の医療従事者（あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師）	51
12	その他の医療従事者（ソーシャルワーカー（社会福祉士、精神保健福祉士））	51
13	その他の医療従事者（公認心理師）	51

第3章 香川県地域医療構想 53

第4章 疾病・事業ごとの医療連携体制の現状・課題と対策

第1節 県民本位の医療連携体制の構築 54

1	基本的考え方	54
2	県民・患者の視点	54
3	医療機関等の機能分化と連携	55
4	地域医療における病院相互間の機能分担等	59

第2節 疾病ごとの医療連携体制の現状・課題と対策 63

1	がん	63
2	脳卒中	71
3	心筋梗塞等の心血管疾患	78
4	糖尿病	85
5	精神疾患	90
6	結核・感染症	105
7	臓器等移植	111
8	難病	115
9	アスベスト	117
10	アレルギー疾患	118
11	今後高齢化に伴い増加する疾患等対策	119

第3節 事業ごとの医療連携体制の現状・課題と対策 120

1	救急医療	120
2	災害医療	125
3	へき地医療	131

4	周産期医療	136
5	小児救急を含む小児医療	139
<u>第4節 在宅医療連携体制の現状・課題と対策</u>		141
<u>第5節 歯科医療連携体制の現状・課題と対策</u>		147
1	歯科口腔保健の推進	147
2	歯科保健医療体制の整備	150
3	連携体制の構築	151
<u>第6節 医薬等に係る現状・課題と対策</u>		153
1	医薬関係	153
2	血液確保対策	156
<u>第7節 医療安全対策・情報化に係る現状・課題と対策</u>		160
1	医療安全対策	160
2	医療における情報化	164

第5章 保健医療計画による事業の推進と数値目標の達成状況の評価

<u>第1節 保健医療計画の周知と情報公開</u>		166
1	第六次香川県保健医療計画の数値目標と達成状況	
2	計画の周知	
<u>第2節 数値目標の設定</u>		166
1	数値目標	
2	数値目標の意味	
<u>第3節 保健医療計画の推進体制と役割</u>		166
1	県	
2	市町	
3	医療提供施設の開設者等	
4	県民・患者	
<u>第4節 数値目標の進行管理</u>		167

第6章 保健・医療・介護（福祉）の総合的な取組み

第1節 保健・医療・介護（福祉）の連携	176
1 患者・利用者の立場に立った保健・医療・介護（福祉）の切れ目のない連携体制の構築	
2 他の計画との整合性の確保	
第2節 健康づくり運動の推進	178
第3節 食育の推進	180
第4節 医療費適正化	182
第5節 高齢者保健福祉対策	186
1 高齢者の保健福祉対策	
第6節 障害者保健福祉対策	188
1 障害者の保健福祉対策	
2 障害者の医療の確保等	
第7節 母子保健福祉対策	192
第8節 保健福祉施設の機能強化	195

第7章 健康危機管理体制の構築

第1節 健康危機管理体制	198
第2節 医薬品等の安全対策	202
1 医薬品等の安全確保	
2 緊急医薬品の備蓄	
第3節 食品の安全性確保対策	205
第4節 生活衛生対策	207

第2節 計画の基本理念・取組みの方向性

医療は、社会の重要かつ不可欠な資産であり、医療提供体制は、県民の健康を確保するための重要な基盤となっています。

まず、医療は、患者と医療提供者との信頼関係を基本として成り立つものです。患者や県民に対して医療サービスの選択に必要な情報が提供されるとともに、診療の際には、インフォームド・コンセント（医師等が医療を提供するに当たり適切な説明を行い、患者が理解し同意すること）の理念に基づき、医療サービスを提供していくことが重要です。

また、安全で質が高く、効率的な医療の実現に向けて、患者や県民が、利用者あるいは費用負担者として医療に関心を持ち、医療提供者のみに任せるのではなく、自らも積極的かつ主体的に役割を果たしていくことが望ましく、そうした仕組みづくりが求められています。

さらに、医療は、周産期医療、小児医療からはじまり、終末期における医療まで、人生のすべての過程に関わるものであり、傷病の治療だけではなく、健康づくり等を通じた予防や、慢性的な症状を持ちながらの継続した介護サービスの利用等、様々な領域との関わりがあります。

また、医療の提供に際しては、医療分野や福祉分野の専門職種、ボランティア、家族その他様々な人が関わりを持つことから、医療提供者は、医師とその他の医療従事者がそれぞれの専門性を発揮しながら協力してチーム医療を推進していくことはもとより、地域において、医療提供施設相互間の機能の分担及び業務の連携を確保するための体制（以下「医療連携体制」という。）の構築にも積極的に協力していくことが求められています。

今後、これまで経験したことのない超高齢社会を迎える中で、県民だれもが、地域で自立した生活を営むことができるよう、それぞれの身体状況や家庭状況に応じて、医療、介護等が切れ目なく提供される地域包括ケアシステムの構築も必要です。

以上を踏まえ、本計画では、県民の医療に対する安心、信頼の確保を目指し、医療機能の分化・連携を推進することを通じて、地域において切れ目のない医療の提供を実現することにより、良質かつ適切な医療を持続可能な形で効率的に提供する体制の確保を図るこ

(2) 薬剤師の資質の向上

- ① 薬学教育 6 年制の円滑な実施に向け、関係機関が取り組んでいる実務実習受入施設の確保や指導薬剤師の養成など受入体制の整備を支援するとともに、病院薬剤師に対するがん専門薬剤師研修等への参画について周知を図ります。
- ② 既卒薬剤師も含めた生涯研修体制の確立を図ることが求められていることから、薬剤師会等関係機関と連携して、自主研修等の実施を促進し、薬剤師の資質の向上に努めます。

4 保健師

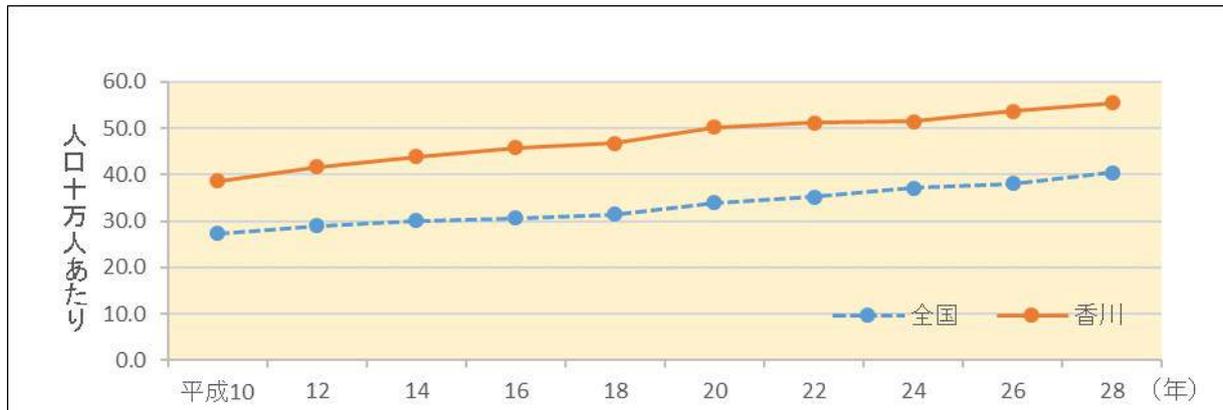
近年、少子・高齢化の進展、疾病構造の変化、核家族化の進行とともに、社会不安を背景にしたところの健康問題、高齢者や児童の虐待対策、新型感染症の発生や災害時の健康危機管理対策など、健康課題は複雑で多様化しています。

このような状況の中、住民の健康を守る保健師の活動は、様々な年齢層や健康レベルに応じた幅広い活動が求められています。加えて、地域における保健・医療・福祉サービスのコーディネーター役として期待されており、その専門性の向上を図る必要があります。

【現状・課題】

- (1) 県内には、保健師・看護師の養成施設として大学看護学科 2 校が設置されています。平成 29 年 3 月卒業者 (133 人) のうち、保健師としての就業は 13 人、うち県内就業者は 9 人となっています。
- (2) 県内に就業する保健師の届出総数は 539 人 (平成 28 年末現在) であり、就業場所別にみると、市町が 267 人 (49.5%) と最も多く、次いで保健所が県 4 保健所・高松市保健所で 111 人 (20.6%)、病院・診療所が 61 人 (11.3%)、事業所が 46 人 (8.5%)、県が 24 人 (4.5%)、訪問看護ステーションや介護保険施設等が 16 人 (3.0%)、看護師等学校・養成所又は研究機関が 12 人 (2.2%)、その他 2 人 (0.4%) となっています。人口 10 万人当たりの保健師数は 55.5 人で全国の 40.4 人を上回っています。
- (3) 平成 24 年 7 月に改正された「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」(厚生労働省)において、ソーシャルキャピタルを活用し地域の特性を生かした健康なまちづくりの推進が提唱され、保健、医療、福祉、介護等の各分野及び関係機関、住民等との連携及び協働がますます重要となっています。様々な分野で働く保健師がこれまで以上に連携体制を強化し、効果的な保健活動を展開することが必要です。
- (4) 健康問題が多種・多様化し、保健師の分散配置が進む中、人材育成に当たっては、現任教育を充実させ、対人支援技術や地区診断、企画力などを育成する必要があります。

保健師数の推移



出典：厚生労働省「衛生行政報告例」

保健師従事者数

	全国	香川県	圏域別内訳				
			大川	小豆	高松	中讃	三豊
従事者数	51,280	539	49	26	241	158	65
人口10万人当たり	40.4	55.5	61.3	92.9	53.4	54.9	52.4

出典：厚生労働省「衛生行政報告例」(平成28年)

【対策】

(1) 保健師の養成・確保

- ① 香川大学及び県立保健医療大学において質の高い保健師を養成するとともに、卒業生の県内就業の促進を図ります。

(2) 保健師の資質の向上

- ① 保健師の基礎教育の大学院化、継続教育を推進し、資質の向上に努めます。
- ② 市町や大学と連携し、専門的な実践能力や行政能力を持つ保健師を育成するため、香川県地域保健関係職員研修指針や新任期及び中堅期の保健師人材育成の手引き等に基づいた研修体制の充実に努めます。
- ③ 香川大学や県立保健医療大学、県看護協会等関係機関との連携のもと、生涯学習を推進します。

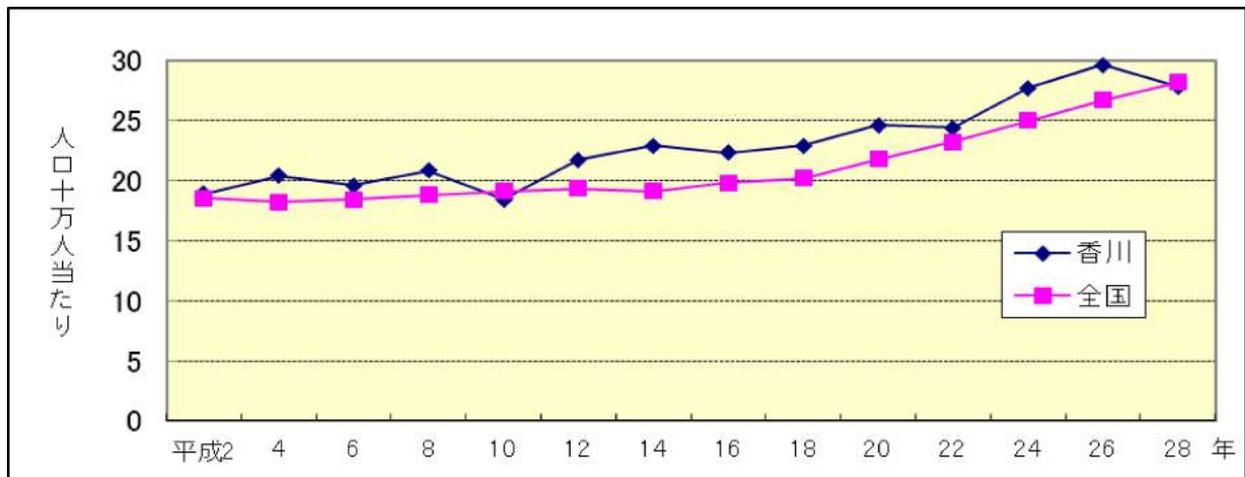
5 助産師

助産師は、少子・高齢化が進む中、助産業務にとどまらず、地域社会の中で思春期から更年期に至る女性のライフサイクルに合わせた保健指導や援助までを行っており、その安定的確保と資質の向上を図ることが必要です。

【現状・課題】

- (1) 県内には、助産師養成施設として、県立保健医療大学助産学専攻科（定員 10 人）が設置されています。平成 29 年 3 月卒業者 10 人のうち、県内就業者数は、6 人となっています。
- (2) 県内で就業している助産師数は 270 人（平成 28 年末現在）で、就業場所別にみると、病院・診療所が 229 人（84.8%）で最も多く、次いで助産所が 24 人（8.9%）、看護師等学校養成所又は研究機関が 7 人（2.6%）、市町が 5 人（1.9%）、その他 5 人（1.9%）となっています。また、人口 10 万人当たりの助産師数は 27.8 人で、全国平均と比較すると、ほぼ同程度となっています。
- (3) 産婦人科医の減少が続く中、県民が安心してお産のできる環境を維持していくために、助産師の養成確保や助産ケアの質の向上を図ることが必要です。

助産師数の推移



出典：厚生労働省「衛生行政報告例」

助産師従事者数

	全国	香川県	圏域別内訳				
			大川	小豆	高松	中讃	三豊
従事者数	35,774	270	13	7	169	62	19
人口 10 万人当たり	28.2	27.8	16.2	24.6	37.4	21.5	15.3

出典：厚生労働省「衛生行政報告例」（平成 28 年）

【対策】

(1) 助産師の養成・確保

- ① 県立保健医療大学において、広い視野と高い教養を身につけた質の高い助産師を養成するとともに、卒業生の県内就業の促進を図ります。